

グリーン・インフラ・ソリューション／施設管理システム Futuricシリーズ ファシリティ(CO2)の見える化

特 長

環境貢献

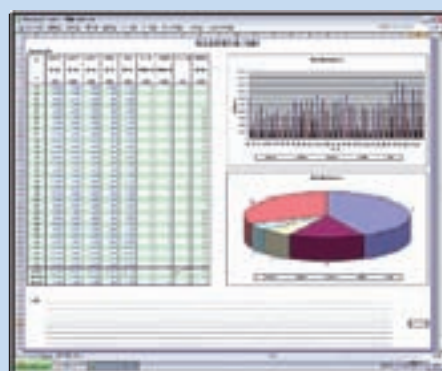
- 収集(電力/温度)情報を分析し、環境対策活動に貢献
- 収集情報の分析結果に基づく設備の最適制御によるコスト削減(従来比10~20%)を実現
- 入退室管理システムとの連携により、部屋の照明・空調を自動オフ

概要

データセンターにおける省エネルギー対策として、施設総合管理システムFuturicで収集するエネルギーデータを、お客様はWeb上でいつでも最新の電力量などのグラフ表示や帳票出力を行うことができ、常に最新情報を把握できます。

●ファシリティ(CO2)の見える化

Futuricで管理している設備機器の計測値や積算値を周期的にデータ収集。PCからWeb画面上で電力量などエネルギー使用実績の確認や、各種グラフ表示で二酸化炭素(CO2)の排出量が見える化できます。



施設総合管理システムFuturic/SX



データセンター内のエネルギーデータを収集

■ 技術のアピールポイント

■「環境貢献ソリューション」認定製品

世界規模で地球温暖化防止を目指し、温室効果ガス排出量の削減目標を定めた京都議定書。この議定書では日本は6%削減を目標としていますが、2002年時点ですでに7.6%増加しており、これを考慮すると13.6%以上の削減が必要となります。富士通ではFuturicを「環境貢献ソリューション製品」に認定するにあたり、更に厳しいCO2排出量15%以上の削減を基準値に設定しています。



■Web画面上で操作・確認

設備機器の運転操作・監視等、全ての操作をWeb画面上で実施。いつでもどこでも電力量などエネルギー使用実績を把握できるため、操作性が向上します。



■管理データを元に課題分析・改善

収集データを元に課題分析を行い、改善に向けた中長期計画の作成・提出・定期報告のレポートをサポートします。



■使用量明細や請求書の発行支援

テナントごとに登録した各ポイントの使用量を自動検針します。また、締日ごとに検針結果や按分率などをもとに使用量と請求金額を算出し、各テナントの使用量明細や請求書を出力することができます。



■入退室管理システムと施設管理システムの連携によるエネルギーコスト削減 特許出願済

・施設管理システム「Futuric」と、入退室管理システム「SGシリーズ」、会議室予約システムと連携し、会議開始にあわせた事前空調、入室をキーとした照明点灯、会議終了後の退室操作にあわせた空調・照明自動オフなどエネルギー消費量を最小限に抑え、利便性と省エネ化を図ります。



導入事例

お客様	某国立大学様、某県庁様
対象業務	省エネ効果（電力、ガス、CO ₂ 等々の削減状況）の見える化、入退連携によるエネルギーコスト削減（従来比10～20%）
サービス内容	Futuric/SXのWEB検針機能を導入し、管理者が自席でエネルギー使用状況を自由な時間帯で閲覧可、リアルタイムな情報を元に省エネを実現。また、入退室管理システムとの連携によりトータルソリューションでのエネルギーコストを削減。

※本資料中、特許出願済 表示箇所については特許出願済の技術を含みます。



環境貢献への取組みはこちら：<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/green-it/index.html>

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通株式会社

サービスビジネス本部 安心安全ビジネス推進室

〒144-8588 東京都大田区新蒲田1-17-25 富士通ソリューションスクエア

TEL: 03-6424-6204

内容の詳細はインターネットでもご覧いただけます。<http://segroun.fujitsu.com/physicalsecurity/>

■このパンフレットには、森林認証紙、大豆インキ、有害な廃液を出さない水なし印刷方式を採用しています。